



2011年7月15日

報道関係者各位

大阪市中央区内平野町三丁目1番3号
株式会社カプコン
代表取締役社長 辻本春弘
(コード番号：9697 東証・大証)

全世界で1,000万ダウンロードを突破した
ソーシャルゲーム『Smurfs Village』の日本語版を配信開始
～ ビーライン・インタラクティブ・ジャパンが本格稼働 ～

株式会社カプコンは、子会社である株式会社ビーライン・インタラクティブ・ジャパンが世界で人気のソーシャルゲーム『Smurfs' Village』（以下、『スマーフ・ビレッジ』）の日本語版を本日より iPhone / iPod touch / iPad 向けに配信を開始しますのでお知らせいたします。

『スマーフ・ビレッジ』は、ベルギーの歴史あるコミックから誕生した「スマーフ」のカラーフルでコミカルな世界観を活かしたソーシャルゲームです。小さな青い妖精「スマーフ」が主人公となり、プレイヤーは畑を耕したり家を建てるなど自分好みの村を発展させていきます。

自分の思い描く村が作れる自由度の高さやキャラクターの可愛らしさに加え、フェイスブックと連動したプレイヤー同士のコミュニケーション要素が奏功し、わずか4ヶ月間で1,000万ダウンロードを達成しました。また、App Store の売上高ランキング「トップセールス App」でも62カ国で第1位を獲得するなど、世界中の幅広い層から厚い支持を受けトップブランドとしての地位を確立しました。

このような状況下、ビーライン・インタラクティブ・ジャパンは第1弾タイトルとして、日本語版『スマーフ・ビレッジ』の配信を開始いたします。また、9月から全国で公開される3D映画「スマーフ」により、国内市場のキャラクター人気も醸成され、更なるユーザー層の拡大を図ってまいります。今後は、同タイトルを皮切りに、ビーライン・インタラクティブ・ジャパンより日本市場向けタイトルを続々と投入し、ユーザーの皆様の多様なニーズにお応えしてまいります。

今後も当社は、飛躍的な拡大を続けるソーシャルゲーム市場で、セカンドブランド「ビーライン」を活用したライトユーザー層への訴求を図るとともに、「カプコンブランド」による家庭用ゲームとのシナジー効果創出を目指す2つの戦略を推し進めることで、カプコングループとして収益の最大化を図ってまいります。

【商品概要】

1. タイトル名	『Smurfs' Village』(スマーフ・ビレッジ)
2. ジャンル	ソーシャルゲーム
3. 対応機種	iPhone / iPod touch / iPad
4. 配信開始日	(日本語版) 日本: 2011年7月15日 (英語版) カナダ: 2010年11月4日 全世界: 2010年11月11日



『スマーフ・ビレッジ』

© Peyo – 2010 – Licensed through Lafig Belgium – www.smurf.com. All game code©2011 Beeline Interactive Japan, Inc.

【本件に関するお問い合わせ先】

< マスコミ・投資家様向けお問い合わせ先 >
株式会社 カブコン 広報・IR室
〒540-0037 大阪府中央区平野町三丁目1番3号
TEL: 06-6920-3623 / FAX: 06-6920-5108